まきば

「ひれ伏しもしなかった」

「王の門にいる王の家臣たちは皆、ハマンにひざまずいてひれ伏した。王が彼のためにそのように命じていたからである。しかしモルデカイはひざまずかず、ひれ伏しもしなかった。」
(エステル記 第３章２節・旧約聖書７５３頁)

はじめに

エステル記を開きます。この書には「神」が出てきません。しかし、読んだ後、背後で神の御手が働いているとの確信がわいてくる、不思議な内容になっています。エステル記を通し、苦境に陥った神の民たちの大逆転は、私たちにも起こるのだ、いや、今、起こっていて、勝利を迎える日がくるのだということを心に刻み、そのために私たちが取るべき信仰姿勢を確認したいと思います。

万事が益となる

エルサレムがバビロンによって滅ぼされ、多くの民たちが国外に強制移住させられ、その後バビロンを滅ぼしたペルシャがインドからアフリカ東部まで統治していた時代だと紹介されています。今から３０００年も前ですが、今、私たちに恵みを施してくださっている神は、当然ではありますが、その時も生きておられ、すべてを御手に治めておられました。「神はいるのだ」と大宣伝せずとも、神はどの時代にも、どんな時にも、共におられ、助け、叫ぶ神の民たちの声を聞いてくださるお方です。神は私たちが叫んだときに働いてくださるのでしょうか。違います。叫ぶ前にすべてを備え、救いを用意してくださっているお方です。神がなにもしておられないように感じても、私たちの知らない所で万全に備えておられる方なのです。

パウロもその体験を手紙に記しています。「神を愛する者たち、つまり、ご計画に従って召された者のためには、万事が益となるということを、私たちは知っています」(ローマ 8:28)。そのような信仰を持ちたいと思います。

ひれ伏さない

そのために、私たちはどのように日々を過ごしていけば良いのでしょうか。神の民たちを憎み、滅ぼそうとする敵は、人物だけではなく、物事も含めて考えるならば、日々に現れてくると言って良いでしょう。しかし、私たちの心は弱ります。しかし、決してひれ伏してはなりません。なぜなら、「あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。私はすでに世に勝っている」。神は、そのような中で、すでに私たちを勝利に導く道を作っていてくださっているからです。モルデカイは、神の道が見えなくとも、神を信じる信仰に堅く立って行動をしたのです。

私たちがひれ伏す対象

ハマンにひれ伏さなかったモルデカイは、高ぶった、頑固な人物だったのでしょうか。そうではありません。彼は自分に起きたことすべてを神に告げています (4:1、7)。またそのために祈ってほしいと要請しています (4:13)。つまり、神の前にひれ伏して、すべてを打ち明け、訴えていたことがわかります。書かれていないのは、それが当たり前のことだったからではないでしょうか。私たちのひれ伏す方はただ神だけです。その神が私たちに勝利を与えてくださる方だからです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のＱＲコードを読み取ってアクセスしてください。

今週の祈り

「王の門にいる王の家臣たちは皆、ハマンにひざまずいてひれ伏した。王が彼のためにそのように命じていたからである。しかしモルデカイはひざまずかず、ひれ伏しもしなかった。」(エステル記 3:2)
「モルデカイは事の一部始終を知ると、衣を裂き、粗布をまとって灰をかぶり、都の中に出て行って、大きな声で苦しみに満ちた叫びを上げ…」(エステル記 4:1)
「あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。私はすでに世に勝っている。」(ヨハネによる福音書 16:33)

「神を愛する者たち、つまり、ご計画に従って召された者のためには、万事が共に働いて益となるということを、私たちは知っています。」(ローマの信徒への手紙 8:28)

日々に起こってくる問題について、私たちは打ちひしがれ、信仰も萎えてしまうことがあります。しかし、その時にこそ、私たちに勝利を与えてくださる神さまを見あげることができるようにしてください。そして、私に勝利をもたらすために、すでに御手を動かして備えておられることを確信させてください。御名によって祈ります。アーメン。

深読みにチャレンジ！

箴言（129）
第6章20節

＊三つの違う訳を読み比べてみましょう。
◎協会共同訳 「子よ、父の戒めを守れ。母の教えをおろそかにするな。」
◎口語訳 「わが子よ、あなたの父の戒めを守り、あなたの母の教を捨てるな。」
◎新改訳 「わが子よ。あなたの父の命令を守れ。あなたの母の教えを捨てるな。」

「母の教え」

箴言を読んでいておわかりだと思いますが、「父の諭し」が中心になっています。これは家長の役割が非常に重要だったからで、家長である父が神の律法、そしてそれに基づく「知恵」を伝えなければならない責務があったからです。ただし、ここにもあるように、母親の存在も欠かせないものでした。父親だけではなく、母親にも同じように「諭し」の役割を担っていました。「母の教え」が登場するのは1章8節に続いて、この箇所で二度目ですから、母の言葉は少なめに感じますが、互いに補い合いながら父と母が心を合わせて子どもを養育していたに違いありません。

では「父の戒め」と「母の教え」は違う内容だったのでしょうか。ここで「戒め」に使われている語は命令、決まり事などを表す「ミツワー」が使われていて、「教え」は、時に律法(モーセ五書)に用いられる「トーラー」が使われています。厳密に分けることはできませんが、「戒め」は社会秩序、「教え」のほうは日常生活で心がけるルールを示しているようなイメージです。

「母の教え」として明確には記されていませんが、21節などは、「心を尽くし…」という言葉を手に結びつけるようにと言われている命令に対し(申命記 6:8)、きっと母親が「結び付ける」のを手伝っていた、その光景を思い起こさせるような言い方です。「父と母を敬え」はこの言葉と同意語だと思います。

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

1 父から子へ・受け継がれるべき知恵（1:1 ～ 9:18）
2 生活の処方箋・知っておくべき知恵（10:1 ～ 22:16）
3 先人からの知恵（22:17 ～ 31:31）
　a 知恵ある人の言葉（22:17 ～ 24:34）
　b ソロモンの言葉（25:1 ～ 29:27）
　c アグルの言葉（30:1 ～ 33）
　dレムエルの言葉（31:1 ～ 31）

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをすることはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも 15 分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方 (例)】

①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。

②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。

③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。

④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈祷課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会が祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

箴言第30章8節「空しいものや偽りの言葉を私から遠ざけ 貧しくもせず、富ませももせず 私にふさわしい食物で私を養ってください。」◆アグル、また次章のレムエルがどのような人物であるのかはわかっていない。ヨブ記にあるような神の威光と人間のはかなさが語られている中で、私たちはその人生をも神がすべて整えてくださっていることを認めていかなければならない。神はなくてならぬ食物、それは霊的な維持でもあり、肉体を維持するものでもあるが、日常の生活において私たちを養ってくださる。神の知恵をもって、謙遜に歩ませていただきたい。

●賛美／ 344 ●祈祷課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。

◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

箴言第31章4節「レムエルよ ぶどう酒を飲むのは、王のすることではありません。王のためにはなりません。麦の酒を求めるのは君主にふさわしくありません。」◆自分自身に言い聞かせているような書き方だ。麻薬を一旦使うようになると、やめるのは難しくなる。いけないと思いながらも手が出てしまうと聞く。ここで、レムエルは酒に手を出そうとしたのか、「王のすることではない」と何度も言い聞かせ、自制している。私たちは何によって自制力を高められるのか。それは、聖なる神を見上げ、力をいただくことだ。自滅を引き寄せてはならない。

●賛美／ 345 ●祈祷課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、ＥＨＣ、ケズィック、太平洋放送協会、ＦＥＢＣ、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド･ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会 (聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆ 宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

コヘレトの言葉第1章14節「私は、太陽の下で行われるあらゆる業を見たが、やはり、すべては空であり、風を追うようなことであった。」◆おそらく箴言同様、ソロモンが書いたと思われる。箴言とは違い、ソロモンの体験を通して悟った、「人生をどのように生きるべきか」との問いの結論が書かれてある。「空の空」とは、つかみようのない、実体のないものを中身があるかのようにつかもうとすることを意味し、「底知れぬ空しさ」を表している。ソロモンは巨万の富を得たのだが、それらの富は人を幸福にすることができなかったのだ。

●賛美／ 346 ●祈祷課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように

◆宗教法人を取得できるように

◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

コヘレトの言葉第2章1節「私は心の中で言った。『さあ、喜びでお前を試そう。幸せを味わうがよい。』しかし、これもまた空であった。」◆自分の人生を充実させるために必要なのは自分を磨くことだと考え、懸命に学び、様々な知恵を身につけたが、かえって憂いが増した。だったら、一生懸命勉強する必要はないので、遊んで暮らそうとしたけれど、狂気の沙汰、愚かしく、なんの生産性も感じなかった。さらに、偉大な功績を残しても、心の空虚さはうまらなかった。ソロモンはそう言う。彼が経験したのだから、わざわざ私たちが同じ轍を踏む必要はない。	●賛美／ 347 ●祈祷課題 ◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。 ◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が 50 名以上となり、受洗者が年間 3 名以上与えられるように祈りましょう。

コヘレトの言葉第3章11節「神はすべてを時に適って麗しく造り、永遠を人の心に与えた。だが、神の行った業を人は初めから終わりまで見極めることはできない。」◆ソロモンは、自分の人生を振り返り、すべての出来事について人間が介入できる余地はないとはっきり思い知らされ、同時に、神の御手によってなされることが最善であると告白をした。私たちの与えられた「時」を自分自身で支配しようとするから空しくなる。神がすべてを最善に導いてくださるのだとの信仰があれば、「美しい」と言えるはずだ。	●賛美／ 348 ●祈祷課題 ◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。 ◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。 ◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

コヘレトの言葉第4章4節「また、私はあらゆる労苦とあらゆる秀でた業を見た。それは仲間に対する妬みによるものである。これもまた空であり、風を追うようなことである。」◆ソロモンは大事業家でもあった。莫大な資金をつぎ込んで神殿や王宮を建設し、経済政策、また軍備も充実させた。彼も苦労をしていたし、自分の地位を保つために用心も怠らなかった。家臣だったヤロブアムを疑い、亡き者としようとしたことでもわかる。それで王国は維持できたものの、心に満足感や平安はなく、逆に疲れた。この世の権力もまた空しいのである。	●賛美／ 349 ●祈祷課題 ◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。 ◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

コヘレトの言葉第5章1節「神の前に言葉を注ぎ出そうと 焦って口を開いたり、心をせかしたりするな。神は天におられ、あなたは地上にいるからだ。言葉を控えよ。」◆主イエスは律法学者やファリサイ派の人たちの祈りを嫌った。わざわざ人前に出て、ながながと「立派な祈り」をささげていたからだ。「人に聞かせる祈り」ではなく、「神にささげる祈り」でなくてはならない、ソロモンはそのように感じたのだろう。祈りを短くするように勧めているのではない。そこに自分と神しかいない、そのような思いで祈る者でありたい。	●賛美／ 350 ●祈祷課題 ◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。 ◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。

おやこでせいしょ

●きょうのせいしょ

【れつおうき げ　24:1 ～ 25:30】

「エルサレムが ほろびる」

（エレミヤしょ　7：3）

ソロモンおうの あと　イスラエルのおうこくは ふたつに わかれてしまいました。きたのイスラエルおうこくは かみさまを しんじないで、しんでんに きんのこうしの ぞうを おいて、おがむようになりました。おうさまは なんにんも かわりましたが、かみさまを こころから しんじる おうさまは ひとりも あらわれませんでした。そのため、かみさまの ちからを たのまなかった きたおうこくは アッシリアにほろぼされてしまいました。

では、もうひとつのくに みなみのおうこくユダは どうだったでしょうか。エルサレムのしんでんを まもり、かみさまを しんじていたかというと、そうではありませんでした。せんかい おはなしした ヨシヤおう のように かみさまに したがい、たみたちの もはんになったおうさまも いたのですが、おおくの おうさまは かみさまを ねっしんに しんじようとは していなかったのです。そのとしつきが ながくなり、たみたちの こころも かみさまから はなれていった ころ、ユダを おそってきたのが、ネブカドネツァルおうが ひきいる バビロンでした。

かみさまに たよらないのですから、あたりまえです。ユダは またたくまに バビロンに ほろぼされてしまいました。

なぜ かみさまは そのような ことを おゆるしになったのでしょうか。かみさまが あいするたみが ほろぼされるのを なにもせずに ごらんになっていたのでしょうか。

いいえ。このときに よげんしゃとして かつどうしていた エレミヤは こういっています。「あなたがたの みちと おこないを あらためよ。そうすれば あなかがたを このばしょに すまわせる」。そうです。かみさまは しんこうが なくなった ひとたちに かみさまを しんじる こころを とりかえすために、このつらいできごとを おおこしになったのでした。

●かんがえてみよう

☆ヨヤキムが おうさまだったとき、なんというくにが おそってきましたか。
（24:1）

☆バビロンに せめられて、ユダのひとたちは どのようになりましたか。
（24:13 ～ 16）

☆エレミヤしょ には なぜこのようなことがおこったのか、りゆうがかかれています。どんなことですか。（7:3）

なみだ聖書

もじ独

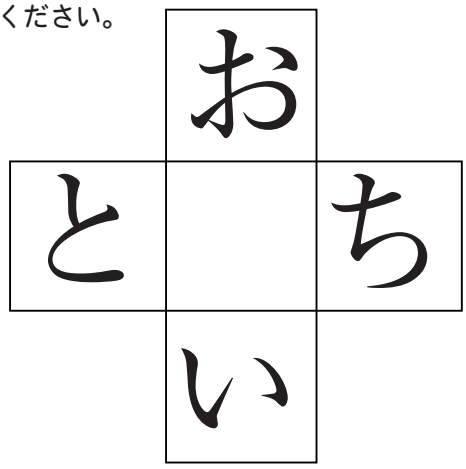
あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

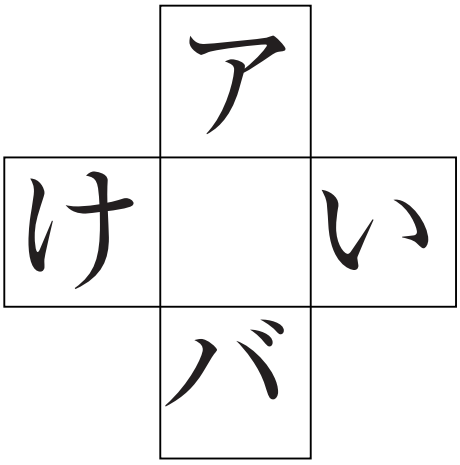
				ゆ	お			を
と	を			わ			だ	お
だ		わ		と	を		た	
お				だ	れ			
		を	た				ゆ	と
た	わ			を		お	れ	だ
わ		お		た	ゆ		ち	
を	れ			ち	だ		わ	ゆ
	ち					を		た

とちをおわれたユダ

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉を□の中にあてはめてください。





まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね

牧師の 聖書 ななめ読み

「靖国神社」

なぜ靖国神社が東京裁判で裁かれたA級戦犯を合祀、つまり神としてまつるようになったのか、詳しい内部資料が開示され、NHKでその特集をやっていました。

ご存じのように、靖国神社は明治天皇が戦死者をまつるために創建し、日本国が管理していた、つまり国の宗教施設でした。ですから、ホーリネス教会を中心とする一部のクリスチャンたちは靖国神社参拝を拒否したわけです。つまりそれは、天皇、そして国家への反逆としてみなされました。時悪しく、国が一丸となって米英と戦おうとする中、国の体制(国体)を乱す組織として取り締まるべく、事前に改悪されていた治安維持法が適用されて、牧師たちが一斉に「治安維持法違反」で検挙されてしまいます。これがホーリネス弾圧事件です。

私は、殉教された横浜ホーリネス教会の菅野鋭(すげの・とし)牧師の長男で、後に東大工学部長になった菅野猛先生本人から、学生時代に靖国神社遙拝を拒み、大問題になったという証しを聞いたことがあります。靖国はそのへんにある神社ではありません。遙拝拒否は国家への反逆行為になるからです。その因縁の靖国神社について、NHKの番組内容に触れながら語っていきたいと思います。

聖書ふれあし街歩き

●リブラ

日本の戦国時代、敵の城を攻略するために支城がが重要な役割を担いました。目的の城の手前に最前線基地を置き、そこから攻めるわけです。例えば浅井長政の小谷城攻略には、500ｍほど離れた虎御前山の支城が重要な役割を担いました。

リブラはイスラエルの北端に近い場所にあり、エジプトとメソポタミアを結ぶ交易路にありました。ネブカドネツァルはこのリブラをユダ攻略の支城、つまり攻撃拠点として用いていたことがわかります。「リブラにいるバビロンの王」(列王記下25:6)とあり、ネブカドネツァルはそこで指揮を執っていたようです。バビロンの都はペルシャ湾の近くで、パレスチナとは７００㎞ほど離れているわけですから、命令や報告が何日もかかってしまいます。ですから、大遠征をし、パレスチナのみならず、あわよくばエジプトへも侵攻していこうと考えていたのかもしれません。列王記下23章を見るとエジプトの王ファラオ・ネコもリブラを拠点としていたようですが(23:33)、その後、バビロン軍が侵攻し、手放さなければならなくなったことになります。この時期、バビロン軍はエジプトよりも強かったのです。

なるも聖書 先週のこたえ

や	ぐ	さ	ら	を	う	き	は	い
き	を	う	や	は	い	ら	ぐ	さ
ら	い	は	さ	ぐ	き	や	を	う
は	や	ぐ	う	き	さ	い	ら	を
い	さ	ら	を	や	は	ぐ	う	き
を	う	き	ぐ	い	ら	さ	や	は
う	き	い	は	ら	ぐ	を	さ	や
ぐ	は	を	き	さ	や	う	い	ら
さ	ら	や	い	う	を	は	き	ぐ

①すべてのことば

②じっこうする

③まきちらす

④きりたおす

伝道者パウロの生涯　１６９

＊本文を開きながら見ましょう。

ローマに向かうパウロ

「ここに、フェリクスが囚人として残していった男がいます。…私はすぐにその翌日、裁判の席に着き、その男を出廷させるように命令しました。告訴人たちは立ち上がりましたが、この男について、私が予想していたような罪状は何一つ指摘できませんでした。…パウロと言い争っている点は、彼ら自身の宗教に関する…ことです。…この者自身が皇帝陛下に上訴したので、護送することに決定しました。しかし、この者について、確実なことは、何も陛下に書き送ることができません。そこで、諸君の前に、特にアグリッパ王、貴下の前に彼を引き出しました。よく取り調べてから、何か書き送るようにしたいのです。囚人を護送するのに、その罪状を示さないのは道理に合わないと、私には思われるからです。」

(使徒言行録25:14～27)

フェストゥスとアグリッパの前で

【頭を抱えるフェストゥス】

フェストゥスは、「こいつらいつまでいるんだよ」と思いながら、いい時間つぶしのネタを思いつきました。「おもしろい見世物がありますよ」とパウロを引き出したわけです。あえて「フェリクスが残していった」と付け加えているのは、責任転嫁しようとしている姿勢が見え見えです。同時に、経緯を説明する冒頭では、私はこのことを迅速、かつ厳正で的確な指示を出していますと自分ができる男であることをアピールしています。これはヘロデ･アグリッパとローマ皇帝のつながりを意識しているわけで、少しでも好印象を与えようとしていることがうかがえます。フェストゥスはヘロデだけではなく、ベルニケにも注意を払っていたはずです。

国内外の歴史を見ても、また聖書も例外ではなく、女性が裏で動くと大どんでん返しが起こる可能性が大きいからです。そうでなくともどういうわけか公式の場で男性の発する意見が却下されても、私的な場面で語る女性の一言が採用され、反映されることも多く起こってきます。例えばエステルとクセルクセス王の場合もそれに当てはまります。

さて、フェストゥスは２人に経過説明をしています。この説明の中で、迅速かつ的確に事を進めているとは言ったものの、フェストゥスが今後どうしたらよいのか悩んでいる様子を見ることができます。

フェストゥスは、イエスが復活した、しないなどという議論は明らかに宗教問題であり、ローマには関係のないことだと考えており、早く自分の手から放したいと思っています。ところが、自分が総督として治めている属州民からは訴えが挙げられ、むげに切り捨てられなくなっている。さらには困ったことに、パウロがローマに訴えますと言い出しました。「私は、これらの議論の取り扱いに困っています」(20)と言うのもわかります。

さらに、ローマに訴えると言っても、何をどのように訴えようとしているのかわからない。ローマに護送することは決めたけれども、「この者について、確実なことは何も陛下に書き送ることができません」(26)と弱音のようなことを言い出します。

アグリッパたちの前にパウロを引き出したのは、時間つぶしだと思うのですが、「こいつらとパウロを引き合わせても、いいアイディアがでるわけないだろうけど、もしかしてってこともあるからな」という、淡い期待も寄せていたのです。「そこで、諸君の前に、特にアグリッパ王、貴下の前に彼を引き出しました。よく(お二人が)取り調べてから、何か書き送るようにしたいのです」(26)と言っているのは、その思いがあったからです。「その罪状を示さないのは道理に合わないと」私は思っていますと、自分があなたに意見を求めているんだよと下手に出て、アグリッパを持ち上げています。

フェストゥスも「皇帝に報告できる犯罪がない」と認めていますが、それまでもガリオン(18:15)、クラウディウス・リシア（23:29)、フェリクス（24:22)が同様に扱っている様子を著者のルカが記しているのは、パウロが犯罪者としてではなく、福音を証しする者として、神の導きによってローマへと派遣されていくのだということを読者に理解させたかった意図があるのだと思います。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。
　必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。
◆礼拝とは何ですか。
　私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。
◆献金とは何ですか。
　神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。
◆聖餐式とは何ですか。
　信仰告白をし、洗礼 (バプテスマ) を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別されたパンとぶどう液をいただきます。
◆信者になるにはどうしたらいいですか。
　自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員 (信者) と呼ばれます。
◆キリスト教会は様々な教派があります。
　大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。
◆にせのキリスト教会がありますか。
　キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

２０２６年教会暦・年間行事

(＃はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら１年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

＊＊＊顕現節 (1/6 ～ #2/17) ＊＊＊

降誕日 (12/25) から 12 日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日 (1/6) から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日 (#2/15) として守ります。

＊＊＊四旬節 (#2/18 ～ #3/28) ＊＊＊

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式 (この教会では行いません)、灰の水曜日 (#2/18) から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの 40 日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週 (#3/29 ～ 4/4) は、主イエスの最後の１週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日 (#3/29) から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日 (#4/2)、十字架にかかられた受苦日 (#4/3) と過ごしていきます。

＊＊＊復活節 (#4/5 ～ #5/23) ＊＊＊

キリストが死にかって復活されたことを祝うイースター (復活日・#4/5) から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40 日後のキリストの昇天 (#5/14) を迎えたのち、復活節の最終主日 (昇天主日 #5/17) となります。

＊＊＊聖霊降臨節 (#5/24 ～ #11/28) ＊＊＊

復活日から 50 日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日 (ペンテコステ・#5/24) から始まり、三位一体主日 (#5/31) では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

＊＊＊待降節 (#11/29 ～ 12/24) ＊＊＊

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント (待降節) は、11 月 30 日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは 12 月 25 日ですが、クリスマス礼拝 (#12/20) は、25 日以前の日曜日を選んでささげています。

＊＊＊降誕節 (12/25 ～ 1/5) ＊＊＊

イエス・キリストの誕生を祝う日 (12/25) から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】
母の日 (5/10・5 月第二)
ウェスレー回心記念日 (5/24・1738 年)
花の日 (子どもの日・6/14・6 月第二)
父の日 (6/21・6 月第三)
ホーリネス弾圧記念日 (6/26・1942 年)
宗教改革記念日 (10/31・1517 年)
収穫感謝日 (11/22・11 月第四)

【当教会行事】
新年元旦礼拝 (1 月 1 日・木)
成人祝福礼拝 (#1/11・1 月第二)
聖書愛読週間 (#3/22 ～ 28)
みふみの日 (3 月 23 日)
教会創立記念礼拝 (3 月最終主日 / 創立記念日 3/29)
最後の晩餐集会 (#4 月 2 日夕)
召天者記念合同礼拝 (#6/14・6 月第二)
弾圧記念礼拝 (#6 月 28 日・26 日前後の主日)
石出忠師記念礼拝 (#7 月 5 日・7 月第一)
敬老祝福礼拝 (#9/13・9 月第三)
子ども祝福礼拝 (#11/1・１１月第一)
クリスマスイブ礼拝 (12 月 24 日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト (青山学院、東北学院など) の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が１９０１年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。２０２２年3月２７日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書６６巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A．B．シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒 (しんゆ)、再臨 (さいりん) の４項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆新生　　キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わること。これにより、天に住まう者のように、日々に喜びが与えられる。（コリントの信徒への手紙二 5:17 など）

◆聖化　　神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。（ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ～ 20 など）

◆神癒 (しんゆ)　　肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。（出エジプト記 15:26 など）

◆再臨 (栄化)　　キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。（コリントの信徒への手紙一 15:51 など）

教会の信条

相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約３年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかられ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

①キリストによる完全な救い
②真心からささげる礼拝
③キリストをかしらとした教会の交わり
④神の憐れみによるいやしと慰め
⑤信仰生活がもたらす祝福
⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 **相模原ホーリネス教会**　創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦　牧師 石出 佳代子　牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3
TEL&FAX 042(772)8910　e-mail church@bethels.info

ホームページ　http://www.bethels.info/